

日銀神戸
支店長の
視点

別所昌樹氏



焼き菓子にハマっています。以前から生洋菓子はよく買っていましたが、焼き菓子の魅力に開眼したのは神戸に来てからです。最大の理由は、阪神間を中心においしいお店が多いこと。もう一つの魅力は、生菓子より日持ちすること。週末にまとめて買っていて、平日少しずつ楽しむ算段です。でも実際は、おいしさのあまり週末のうちに食べ尽くすことも少なくありません。

目の前の誘惑に負けているわけですが、それは私に限った話でもないようです。ここ数十年ほど、経済学では「行動経済学」という分野が発展しました。従来の経済学は、自分の利益を第一に考えて合理的に行動する人間像を想定していました。一方、行動経済学では、人間はそこまで合

焼き菓子と行動経済学

理的ではないと考え、むしろ合理性の限界に注目します。

行動経済学の概念に、「現在バイアス」というものがあります。将来得られる利益より今すぐ得られる利益を優先する人間の心理です。また、遠い先の2時点（例えば、365日後と366日後）の利益より、目の前の2時点（今日と明日）の利益を比べるときの方が、先に得られる利益を選びがちといわれています。

これら以外も含む行動経済学の諸概念や、それを踏まえて私たちの行動をより合理的にする知恵を知ることが、お金と賢く付き合う方法を考える際も役立ちそうです。私が会長を務める兵庫県金融広報委員会は9月19日、大阪大学の大竹文雄特任教授の講演会「人はなぜお金で失敗するのか…行動経済学で学ぶ選択」を開催します。夕方6時半開演、場所は旧居留地です。ご興味のある方は同委員



会のホームページ
ジ||QRコード
||からぜひ応募
募ください。